

---

# ひとりごと ～ by myself ～ Part 1 【完】

本城沙衣

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ひとりごと      by myself      Part 1      【完】

### 【Nコード】

N6392I

### 【作者名】

本城沙衣

### 【あらすじ】

【横書き編集をしています。】1話／150話

みんな、それぞれ色々な思いがありますよね。

切ないこと・哀しいこと

嬉しいところ・楽しいこと

思ったことと想ったこと・感じたこと

愚痴？

ちよつとムカついたこと

色々な“思い”・“想い”を抱えて生きているからこそ綴れることがありますよね。

特に恋愛とか……はね。

「ひとりごと」……というより「つぶやき」です。

主観ばかりの凝った描写もない作品の上、ふと感じたことを、そのままその時に書いておりますので、1話1話が繋がっていないページもあるます、共感して戴ける部分などありましたら嬉しいです。

書きためていたこともありますので、季節がリアルタイムではない部分があったり、一気に更新する時もありますが、末永く、お付き合い下さいませm（　　）m

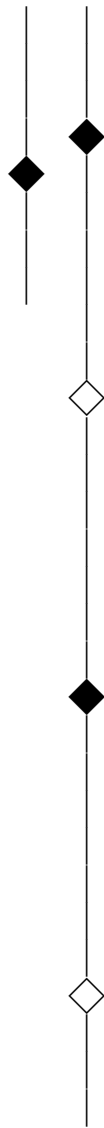
永遠に更新予定ですが、Part1は150話にて完結です。  
つづきはPart2にて連載させていただきます。

＊1ページに3話掲載です。

## 1話〜3話（前書き）

《こちらの作品は本城沙衣に帰属致します。無断転記等は固くお断りさせて戴きます》

## 1話〜3話



1. 気付いているのかな……

10回のメール着信音より

1回の電話着信音の方が

何倍も嬉しいってわからないかな……。

メールで「大好きだよ」って10回書かれるより

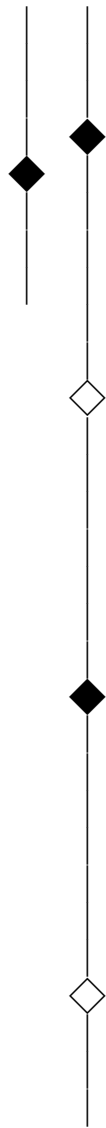
電話で「おやすみ」の一言の方が嬉しい時があるんだよ。

そうは言っても

やっぱり会って目を見るだけで

何も言わなくていいから

キュってしてもらうのが一番うれしいんだよ。



2. まったくもう……！

忙しいって判ってるよ

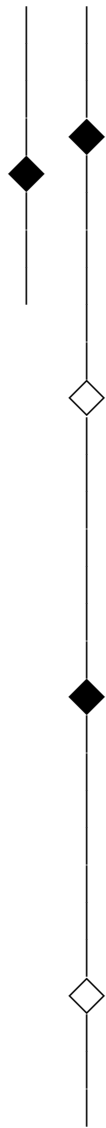
だから何時でも「いいよ」って言ってるじゃない

だったら早く帰った時くらい

電話してよ

こんなんじゃ

貴方の声を忘れちゃうよ



3. どんなにムカついていても……

確か昨日の夜まで怒ってたはずだったんだ

彼と会うのは1ヶ月振りなのに

何だかムカつくことが多いこの頃だから

連絡くれないとか言葉が足りないとかね

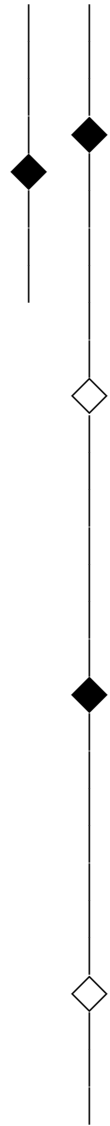
でもね……

遠くで手を振っている彼の姿を見たら

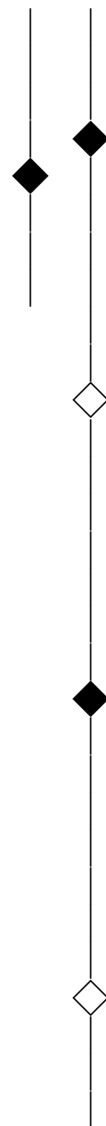
ついトビツキリの笑顔で笑いかけちゃったよ

やっぱり好きなんだよね

悔しいけど



## 4話〜6話



4. こんな恋は……

恋をして

切ないとか哀しいことはあっても

淋しいって思う恋は

やっぱり辛い



5. イケメンも……



確かに今だってイケメンさんは嫌いじゃない

うん

好き

話していて楽しかったら最高？

でもね……

イケメンさんじゃなくても

ちょっと楽しくないことがあっても

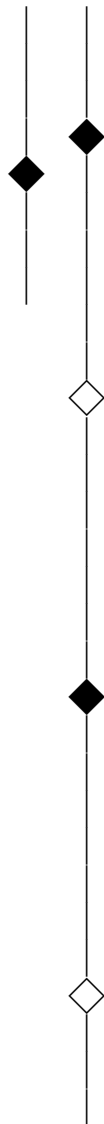
安心出来る人がいいな……

あれ？

これって年取ったってこと？

いえいえ！

成長したのです！



6. キス……

ドライブに行った

かなり久々のデート

遠距離でもないのに、あいつが忙しすぎるんだよ！

帰り路……

渋滞が嬉しかった

赤信号が長かったのが嬉しかった

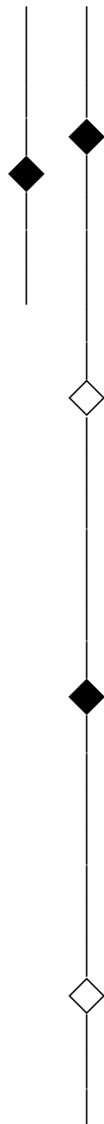
他愛ない会話が嬉しかった

別れ際に「じゃあね」とキスをした

何だか哀しかった



## 7話〜9話



7. 渋キャラなあいつ……

皆の前では渋キャラを気取ってるあいつ

弱音なんて吐いたことないんじゃないかな……他の人の前では

でもね……実はお酒がダメでケーキが大好き

特にイチゴのショートケーキ!

「出来るいい男」

そういうイメージがあってファンも多い

でもね

あいつの本当の姿を知ってるの私だけだよ

泣き顔も見た

絶叫マシンがカラキシ駄目駄目

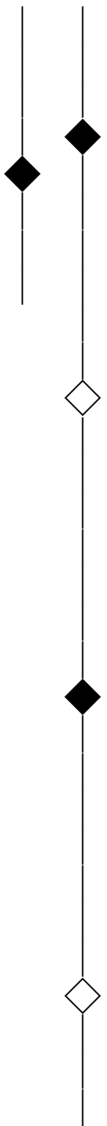
TDLのスプラッシュマウンテンで酔ってたし

疲れて元気ない姿を知ってるの私だけだよ

あ~~~~皆に言いたい！

意地悪じゃないんだ……

自慢したいだけ



8. ○○が強い……

強い人

○○が強い

○○の中には色々な言葉が入る

最近思うところがある

良いことも悪いことも認めることが出来る

置かれた環境を受け入れることが出来る

だから素直に

「ありがとう」「ごめんなさい」と言える

変な言い訳はしない

人に優しく出来る

それが

本当に強い人って思える



9. 優しい人……

優しい人が好き

誰にでも平等に優しいって

きつと本当に優しいんだよね

それでも

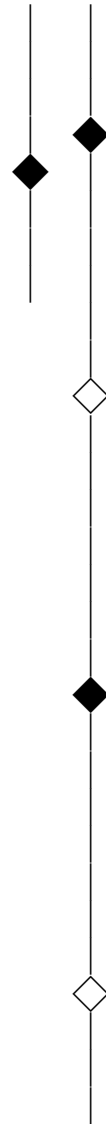
私以外の女の人に優しくしている姿は

見たくない





## 10話〜12話



10. どうしても……

大好きな人が出来ても

忘れることが出来ない人がいる

恋愛感情じゃないんだ

ただ頭の片隅に住みついでる

心の中に残ってる

たまに比べちゃうし仕草とかが被る

これって罪悪感

でも恋愛感情じゃないんだ

どう考えても……違う

「ごめん」って小さく呟いた



11. 有り得ない……!!

「今、DVD観てるんだ」

そうメールがあった。

ちょっと真剣に聞きたいことあったから

「ちょっと話したいことある」と即返信したんだ。

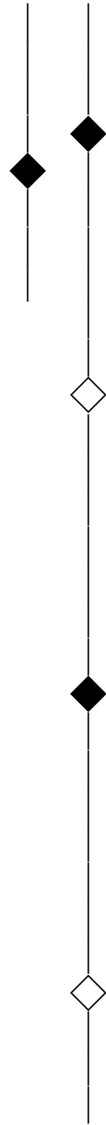
そしたら！

「同時にふたつの事が出来ないから今度にして」

だって！

なに~~~~~！

有り得ない！



12. やっぱり……

「溜め息をつくたびに幸せが逃げて行く」

そう聞いたことがある

でもね……

逢いたいって思う度に溜め息ひとつ

声を聞きたいって思う度に溜め息ひとつ

笑顔を思い出す度に溜め息ひとつ

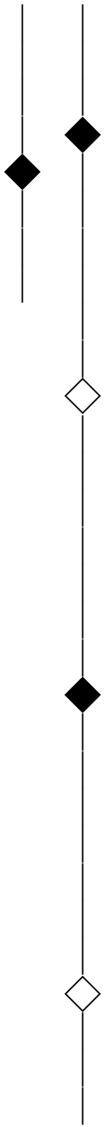
そしたら

貴方を思う度に

どのくらい幸せが逃げていくんだろうね

でも、やっぱり出ちゃうよ……

はあ〜



## 13話〜15話



13. 特別はいらないのに……

特に贅沢なことをしたい訳じゃないよ

遊ぶことばかり考えている訳でもないよ

ただね

たまには電話したり

お休みにはドライブにいたり

何かのイベントの日には一緒にいたり

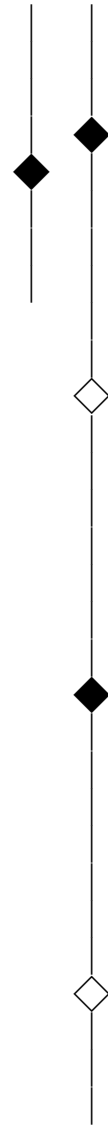
それだけだよ

こういう思いしているのって

私以外、どのくらいの人がいるんだろう……

楽しそうに歩いているカップル見て

ふと、そんなこと考えちゃうんだ



14. クリスマス……

まだ本格的な夏が始まったばかりなのに

考えちゃんだよね

今年のクリスマスのこと

またお仕事なのかな

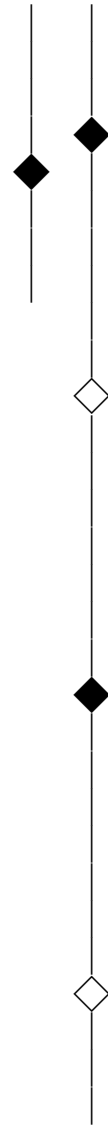
ずっと忙しいのかな

時間も取れないのかな……

やんなっちゃうね

こんなこと考えてる自分

・  
..  
＊



15.  
嘘……

「今日は仕事終わった」

珍しく早い時間のメール

たまに早く帰っても

メールしか来ないんだったら

いっそのこと

連絡なんてない方がいい

悪気がないのはわかってる

メールの2，3行で話すなら

話さない方がいい

たった2・3行で

キモチが伝わるなんて思えない

だから

「今日は寝ます」って

メールした

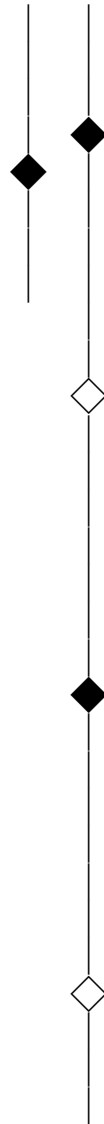
嘘ついた

・  
・  
..  
＊





## 16話〜18話



16. 見えない……

あいつのことは大好き

それでも

先が見えないって不安

あいつの気持ち

確かめたわけじゃないけど

勝手な被害妄想かもしれないけど

不安は不安なんだよ

「大好きだよ」って

何回言われても

不安は不安なんだ

見えないんだ……

あいつの心が

・  
..  
＊



17. 大好きなんだけど……

このままでいいのかなって

いつも考えてる

大好きなんだけどね

一緒にいたいんだけどね……

その

一緒にいるということが難しいなら

いつも傍にいてくれる人がいいって

そう思ってしまう

貴方を癒すばかりではなく

私だって癒してほしいんだよ

・  
..  
＊



18.  
返信……

・  
..  
＊

昨日の夜から

メールの返信していない

「お疲れ様。頑張ってね」

それ以外の言葉が

もうない

それなのに

あの人からの着信音だけは

相変わらず鳴っている

「明日逢えるから頑張るね」だって

どうしよう

もう

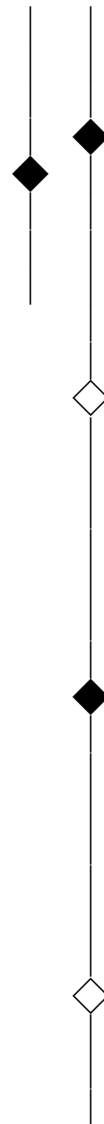
メールを打つのに疲れた

..  
..\*





## 19話〜21話



19. 声……

メールが苦手なんて

今時

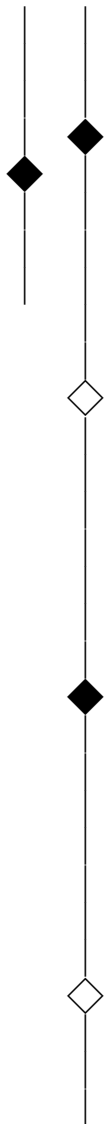
古いのかな……

それでもね

やっぱり大好きな人の声は聞きたい

声に勝るものはないって思ってる

・・  
..\*



20. 空の色……

ふと思った

空の色って本当は何色なのかなって

朝と昼と夜で色が違うよね

でもね

何も難しいこと考えなくても

その時その時で

色が違って

変わらずそこにある空だから

だから

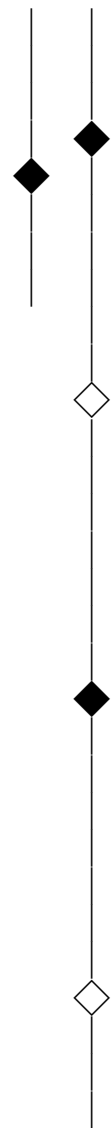
みんな空が好きで

憧れるのになって



そう自己完結！

・  
..  
＊



21. 波の音が聞きたくて……

学生の頃

授業をさぼっては

よく海まで車を飛ばしたな

海岸線に沿って走る道路は

やけに風が気持ちよくて

潮の匂いが心地よかったっけ

今度は波の音を聞きに

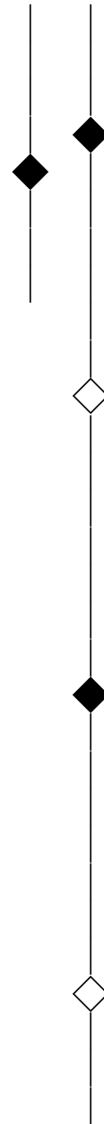
また海へ行ってみようかな

平日に……

・  
..  
＊



## 22話〜24話



22. ほらね……

ほらね

やっぱり会って話すと

いろんなことが見えるんだよ

いろんなことがわかるんだよ

いろんなことが伝わるんだよ

もつともつと

仲良く出来るんだよ

・  
・  
・  
\*



## 23. 海からの風……

気持ちよかったね

海の風を受けながら

お話するのって

なんだか幸せだよね

こういう時間があるってこと

すっごく嬉しいよね

ベンチに座っているだけで

何にも特別なことはないけれど

海が見える場所で

貴方が隣にいてくれるだけで

こんなに幸せなんだよ

この気持ち

わかってくれるかな……

・  
・  
・  
\*



24. あれから……

もう23年か……

あれから、いろんなことがあったよ

見ていてくれたかな

お兄ちゃんと同じ世界で頑張ってきたよ

今日はいいい天気だし

空も青いし

きつと空の上も気持ちいいよね

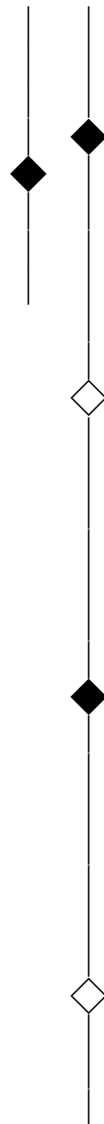
これから頑張るね

〽8月12日〽

・  
..  
＊



## 25話〜27話



25. 堂々巡り……

別に疑ってる訳でもないんだ

信じられない訳でもないんだ

それでも不安になるのは何故？

やっぱり先が見えないから？

気持ちは聞いたのに

その時は嬉しくて

幸せだったのに

また不安になるんだ

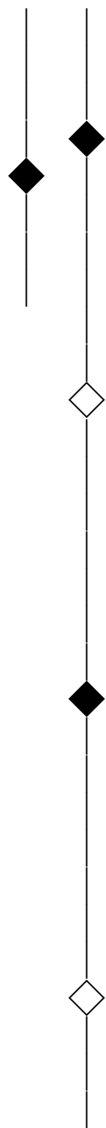
何かを考える度に

不安になってゆくんだ

これじゃ

堂々巡りだよ……

・  
..  
＊



26. あれ……？

ちゃんと話したはずだよね？

あれ？

まだ話し足りてない……

聞きそびれた！

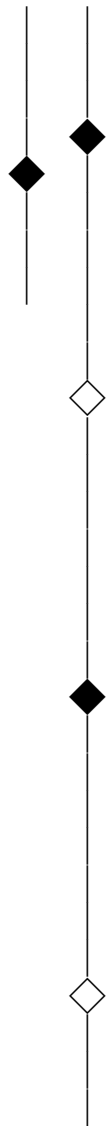


云いそびれた！

これじゃ

無理して時間つくった意味ないじゃない

・  
・  
・  
\*



27. 一緒に見るって……

何でもいいんだ

公園の木とか噴水とか

綺麗な景色だったらいいね

走ってる電車でもいいよ

夕立ち前の暗い空でもいいし

お化けでもいいよ

とにかく何でもいいんだ

一緒に見ることが出来たら

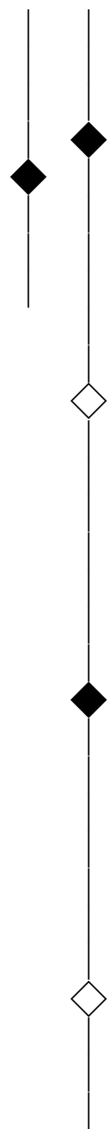
だって

それは一緒にいるってことだから

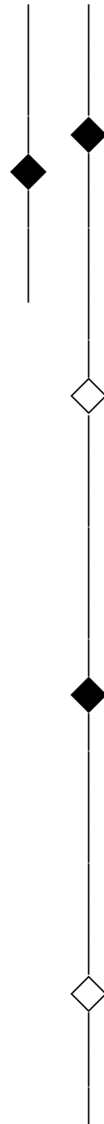
出来たら……

朝焼けが見たい……かも

…  
…\*



## 28話〜30話



28. 仕方ないんだけどね……

お仕事なんだから仕方ないんだけどね

私だって社会人なんだし

忙しいのだって判るよ

それでもね

私だって人間だよ

どんなにいい彼女になろうって思っても

どんなに頑張ってみても

限界はあるんだよ

・  
..  
＊



29.  
海外出張……

はい

有り得ません！

「来週、海外出張になる！」

と朝一のメールだって

私だって海外出張あるよ

でも

ちゃんと電話するか会うよ

そんなにメールが好きなら

一生、メールで話してたらいかが？

電話番号変わっても教えないよ

教える必要ないもんね

・・＊



30. したくない……

淋しい恋愛はしたくなけど

不安になる恋愛は

もつとしたくない

・・＊



### 31話〜33話



31. 魔法……

尋常でない忙しさの中

貴方が一生懸命になってくれてること

ちゃんとわかってるよ

それでもね

それが時々素通りして行くことがあるんだ

嬉しさの反面

その後に押し寄せてくる不安や淋しさ

ちゃんと言わなくちゃって思うけど

話せる時間がないんだ……

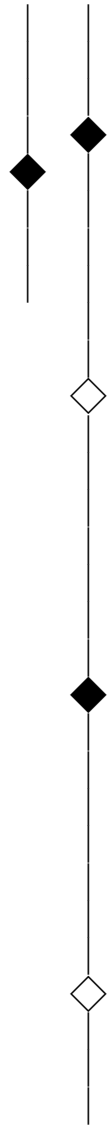
私には

どうすることも出来ない

貴方の時間を操る魔法があったら

一番にこの手に身に付けたい

・  
..  
＊



32. 「待つ」ということ……

「待つ」ということは簡単じゃない

でもね

淋しいだけなら待つことは出来るよ



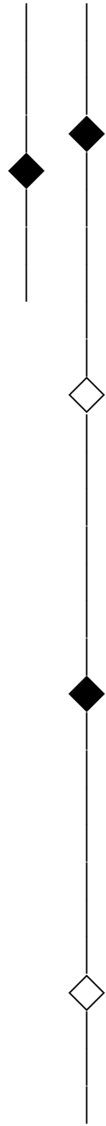
もしね

不安になってしまったら

待てないかも

・  
..  
＊

33. いい加減にしてくれかな……



種種あるあいつの言動から  
私のことどう思ってるのか聞いたんだ

そういうことって初めてだよ

そしたら「真剣に考えてる」って

だったらす……

海外出張行っちゃってね

充電機を忘れたからなんていう理由でね

「あまり連絡出来ない」なんて

云わないでよ

自分から連絡手段絶ってどうするの？

連絡だったら携帯じゃなくても出来るでしょ？

このまま

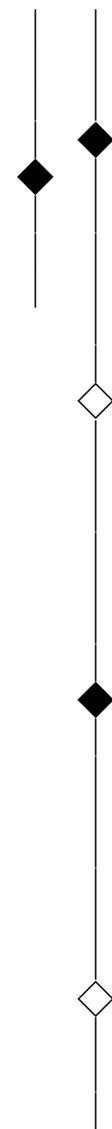
わたしが何処に行っちゃってもいいの？

それとも……同行者……いるの？

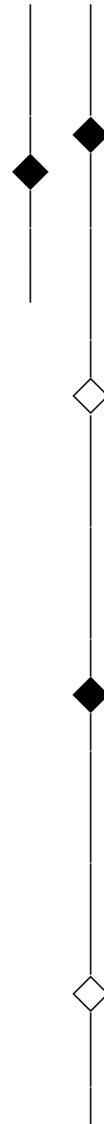
考えたくないよ！

こんなこと！

・  
…  
＊



### 34話〜36話



34. それは、貴方です……

周りの人からも人気あつて

いろんな人から信頼もあつて

仕事も出来て

見栄えもいい男前

はい！

かなりの完璧です

これだけだったらね

でもね

こんなに恋愛に不器用な人は

たぶん

貴方が1等賞！

・  
・  
\*



35. もうちょっとね……

最近、あいつが元気なかったこと

たぶん大きなお仕事を抱えてるからって

そう思うんだ

今のお仕事のこと

珍しく詳しく話してくれたからね

でもね

元氣ない理由の確かな意味は

わからない

嫌われたとは思わないけど

そうなのかな……

ちよつとうるさく言っちゃったからね

やっぱりね

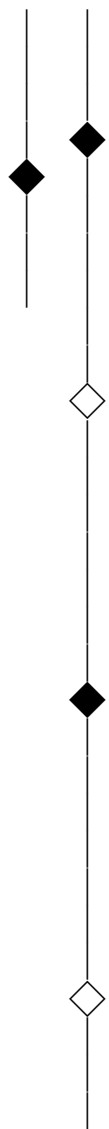
もうちよつと連絡が出来ていたら

あいつの真意だって解るはずなんだ

それが

もどかしいだけなんだ

・  
..  
＊



36. だからかな……

あれが嫌

これが嫌い

“嫌”という漢字を使う言葉

最近 ちょっと苦手

言うのも聞くのも苦しくなる

あいつね

不器用でムカつくところあるけど

今まで、あいつから

その言葉を聞いたことないんだ

あいつが

人を悪く言ってるところ

聞いたことないんだ

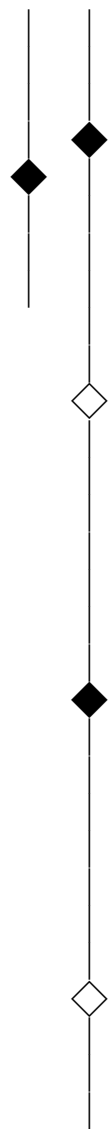
自分を卑下しているところ

聞いたことないんだ

だから

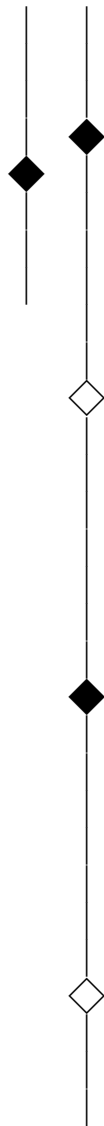
好きなんだろうな

・  
..  
＊





## 37話〜39話



37. おや、乙女……

こう見えても

和服ってけっこう持つてるの

お稽古事で着たりもしたけど

母が好きだから

でも 考えたら

あいつに私の着物姿見せたことない！

見たらなんて言うかな……

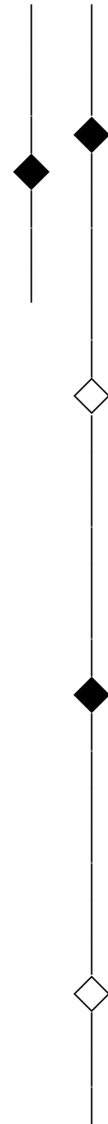
あれ？

私

いつ、乙女になった？

戻った……が正しいか……

・  
..  
＊



38.  
もう、いいかな……

好きという気持ちにかわりないけど

私は貴方を癒すために  
存在しているわけではありません

もう いい加減

疲れた

・  
..  
＊



39. 理解不可能……

悪気がないのもわかってる

不器用すぎるんだってわかってる

それでも

あまり有り得ない行動ばかりは

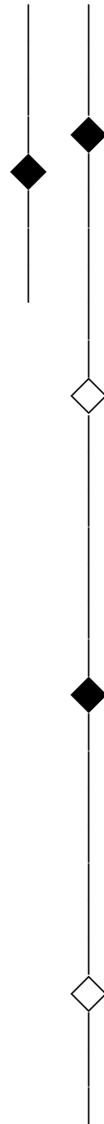
どう頑張っても

理解できない

・  
..  
＊



40話〜42話



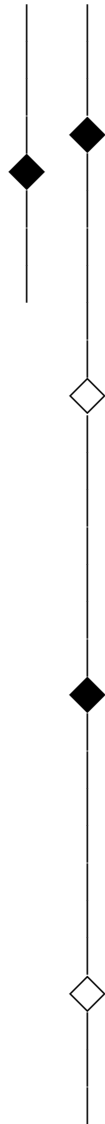
40. 気持ちがね……

頭でわかっていても

気持ちが付いていけない

私だって感情ある人間なんだよ

・  
..  
＊

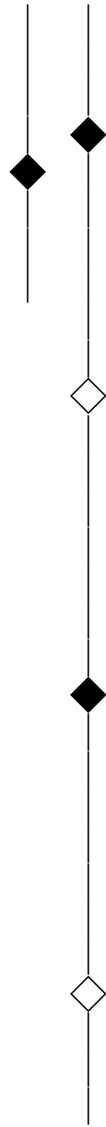


41. 貴方だけじゃないよ……

忙しいのはね

貴方だけじゃないんだよ

・  
・  
・  
\*



42. やっぱりか……

帰国しても

やっぱりメールで「今、着いた」だった

いつもより

いろんなことが書いてはあったけど

一言だけでいいから

「ただいま」って電話が欲しかった

これって

わがまま？

……じゃないと思うよ

・  
・  
・  
\*



## 43話〜45話



43. 勇気ない……

こうなったら

「さよなら」って言っちゃおっかな

う〜〜〜

やっぱり言えない

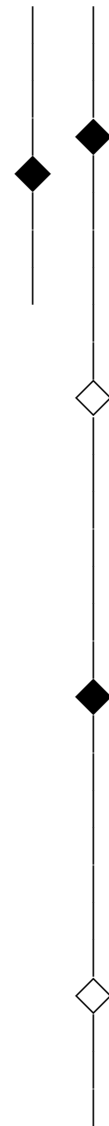
どうして

こういう時に限って

いつもの勇気が出せないの？

そんな自分が情けない

・  
・  
・  
\*



44. イチゴが好きなんだって……

イチゴがね

好きなんだって

可愛すぎるよ

渋キャラなのに

勇気を振りしぼって向かった

待ち合わせの場所で

あいつの笑顔を見たら

「さよなら」の代わりに



笑顔になってしまった

イチゴを思い出した……

・  
..  
＊



45. かき氷も好きなんだって……

暑いからって

かき氷が食べたいと言いだした

はあ~~~~~

やっぱり

イチゴシロップだよ

ピンク色のかき氷を

子供みたいに頬ばってる

「頭痛てえく！」だってさ

ますます言えないよ

別れ話なんてさ

思わず笑っちゃったし

・  
..  
＊



## 46話〜48話



46. 何が一番かって……

一番近くにいるはずで

一番助けてほしい時

他の誰かに頼るしかない状況

これが一番辛い

もし忙しくて

プライベートがフォロー出来ないのなら

彼女はつくるべきじゃない

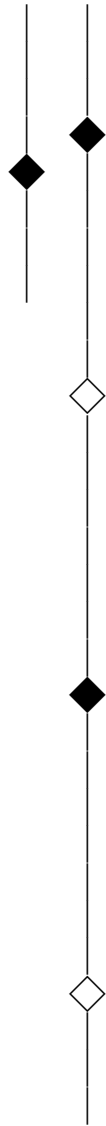
それは

相手を悲しませるだけ

辛い思いをさせるだけ

メールじゃ話せないこともあるんだよ

・  
・  
・  
・  
\*



47.  
星空……

珍しく綺麗な星空を見た

彼も今頃 同じ空見てるのかな

でも……

「今日の星空綺麗だったね」と言っても

「そうだった？」

そういう答えしか返って来ない気がする

旅行とかでは景色にやけに感動してるけど

東京へ戻ると

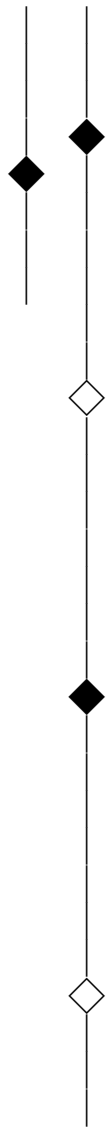
仕事しか頭がないから

上を向いて歩くことなんて

きつとないんだろうね

・  
..  
＊

※「しょーと&しょーと／星空と彼」に連動しています。



48. 走馬灯……

昔の彼に偶然会っちゃった

一瞬、当時のことが

走馬灯のように蘇えり

一瞬のうちに消えた

もう別の世界に生きてるって実感した

「じゃ、またね」

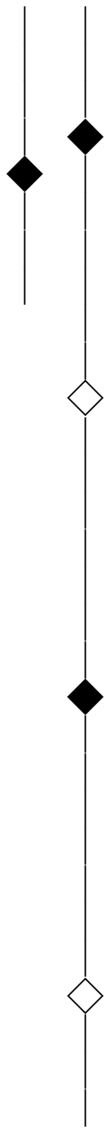
笑って言ったけど

心の中で「さよなら」って呟いた

あの時と同じだった

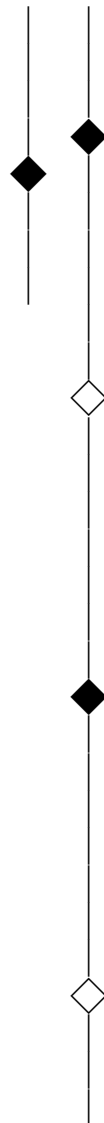
・  
..  
＊

※書籍「視線」と連動しています。





## 49話〜51話



49. 一番難しいことって……

「ありがとう」とか  
「ごめんなさい」とか

最初に親から教えてもらった言葉

「仲良くしなさい」とか  
「素直になりなさい」とか  
「優しくありなさい」とか

次に教えてもらった

大人になって  
難しいことを経験し  
応用力は増して行くけれど



こんなに簡単に素敵な教えが

何処かに消えてしまってる

どんなに過酷な社会にいても

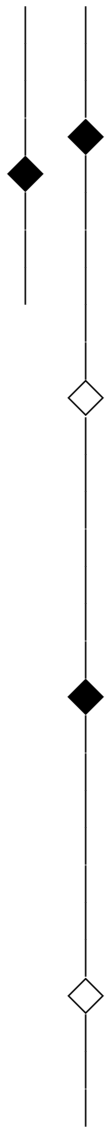
どんなに辛くても

この教えだけは忘れたくない

忘れてはならない

・  
..\*

※「グラウンド・ゼロ」ひとひらの雪」と連動しています。



50. まいったな……

あいつの良いところを  
見ようとしてるんだ

だから

良いところも沢山知ってるよ

でもね

あいつにお説教して

偉そうなこと言っても

私だって人間だよ

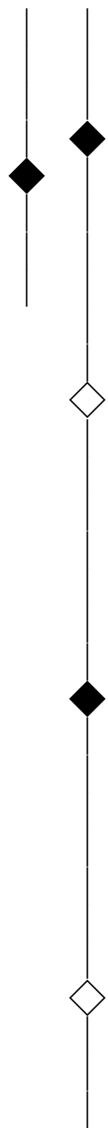
あまりのことが続くと

良いところばかりなんて

見てることなんか出来ない

そんな余裕ないよ

・  
・  
・  
\*



51. Give up...

はい

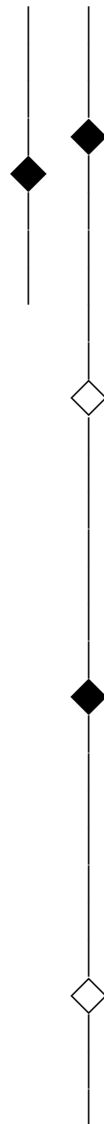
Give up しました

心が気持ちが付いていきません

・  
・  
..  
\*



## 52話〜54話



52. 初めて……

サヨナラした

メールで「さよなら」って

あれ？

こんなに簡単でいいんだっけ？

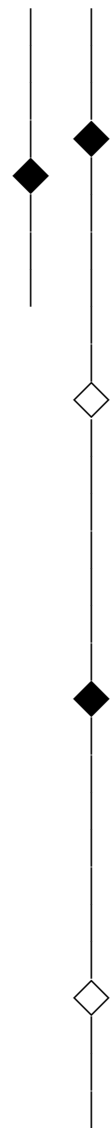
別れるって

こんなに楽だったっけ？

初めてメールが便利に感じた

あんなに嫌だったのに

・  
..  
＊



53. 安堵……？

引きずりそうだから  
携帯に保存してあった  
お写真とか動画を削除していた

やだ……

どうして こんなに涙が出るの？

だって

あんなに辛かったり淋しかったりして

ようやく

安堵の日々がやってくると  
割り切ったはずなのに

あいつも泣いてくれてるかな

熟睡したりして……

想像したら

やりきれなくなった

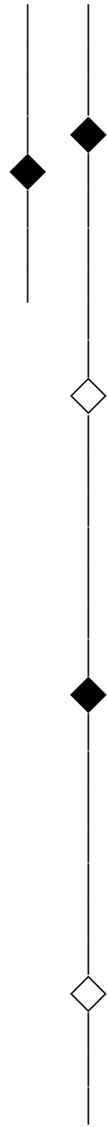
だって

最近 かなり荒れた私がいたから

あいつだって

安堵してるかも……

..  
..\*



54. 実感……

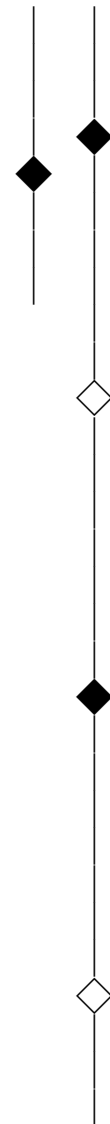
あんなに嫌だったメールなのに

毎朝届く「おはよう」メールが

今朝はなかった

「さよなら」を実感した

・  
・  
..  
＊



## 55話〜57話



55. 濃いめに……

綺麗事に聞こえるかもしれないけど

あの人の邪魔をしたくなかったんだ

だから「さよなら」って言ったんだ

でも……

いつものように

引き止めてくれるって

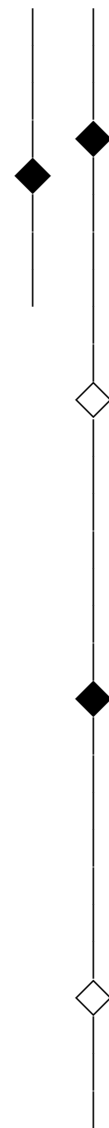
何処かで期待していた

今朝は少し濃いめのメイクをして



出勤した

・  
・  
・\*  
・



56.      { P r e c i o u s   L o v e } . . . . .

今まで使っていた  
彼からのメール着信音を  
解除した

その着信音が鳴ると

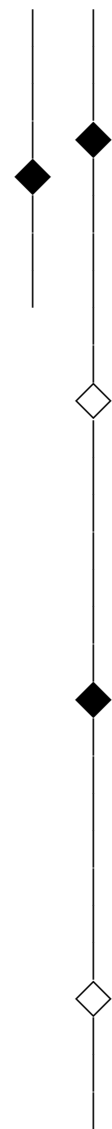
「またか」っていつも思っていたけど  
もう鳴らないと思うと

急にその着信音が

愛おしくなった

{ P r e c i o u s   L o v e }

・  
..  
＊



57. 学習能力……

“失って初めて気付くもの”

私の作品にも書いているはずなんだ

わかってるんだよ

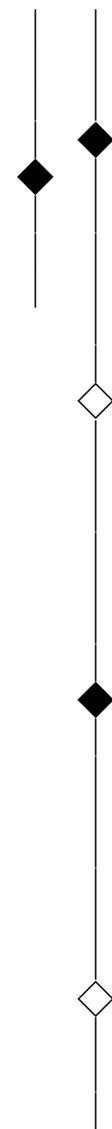
でも

恋愛に関しては

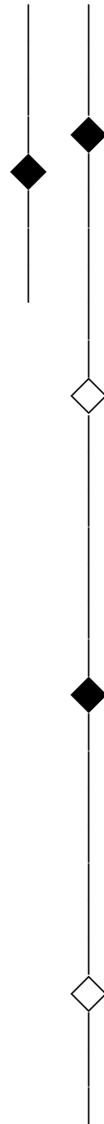
学習能力がないみたい

情けないな……

・  
..  
＊



## 58話〜60話



58. すっきりした……

昨日の今日

あんなに泣いたのに

いつもと同じ時間が過ぎて行った

違うのは

いつもの携帯の着信音が鳴らなかっただけ

もう辛い思いしないでいいんだ

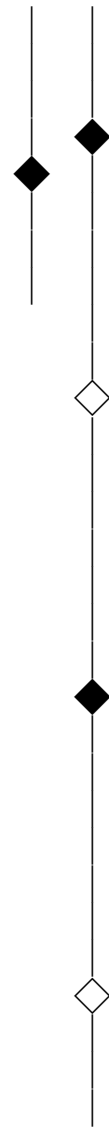
もう悩まなくていいんだ

もう不安にならなくていいんだ

あゝ、すっきりした！

嘘……です

・  
..  
\*



59. 慣れ……

昨日までは泣いていたんだ

今日になったら違う感覚

いつもの着信音が鳴らないだけで

ぽっかり大きな穴が空いた気分

涙……は出ない

な〜んもやる気にならない

あれ？

“別れ”なんて何度も経験してるのに

立ち直り方がわからない

やっぱり慣れないよ

こういうことは

・  
..  
＊



60. まったく……

東京に住んでいながら  
東京タワーって1回しか行ったことない

なのに

何故か東京タワーの映像や写真が  
やたらと目につく

まったく……

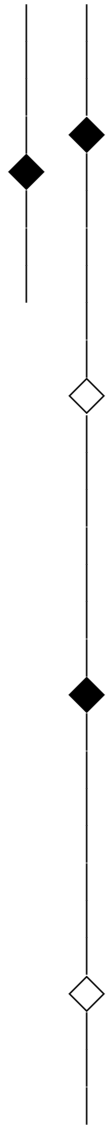
彼と会った時は  
いつも東京タワーが見えたんだ

高速から  
スカイレストランから  
埠頭から

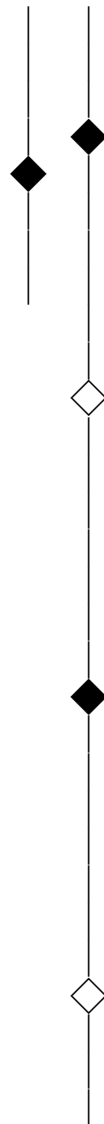
やだな……未練タラタラじゃん

自分から「さよなら」って言ったのに

・  
..  
＊



## 61話〜63話



61. ついでに……

ついでに言っちゃえば……

ぼくっとテレビを観ていたら

“みなとみらい”だって

はい？

先週行ったばかりだし！

観覧車……乗った

コースター……乗った

ショッピングセンター……行った

最後には“ロイヤルウィング”だって

……これは乗らなかったよ

波が高くて酔いそうだったから

彼も私めがめちゃうちゃ船に弱い



だから見ただけ

乗っておけばよかったかな

いや！

乗らなくてよかった

これ以上

思い出を増やしたくない

・  
・  
・  
＊



62. こういう時に限って……

どうして今日は雨なんだろう

もし暑いくらいに晴れていてくれたら

もうちょっと

元気出るのに……

こういう時に限って雨模様

昔 失恋した時も

雨だったな

サザンの“TSUNAMI”

最後のフレーズを思い出した

彼もサザンの大ファンだったな……

ひい

また結び付けちゃったよ！

・  
..  
＊



63. 大丈夫……？

昨夜の雷鳴に眠りも浅く

少し気だるい感覚で目が覚めた

あれ？

身体のだるさと反比例して

心が軽い

……

午後になって気付いた

心が軽いつて感じたのは

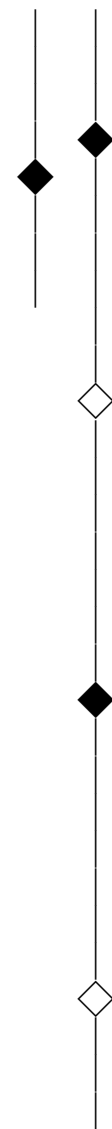
ただ軽いのではなく

軽過ぎたから

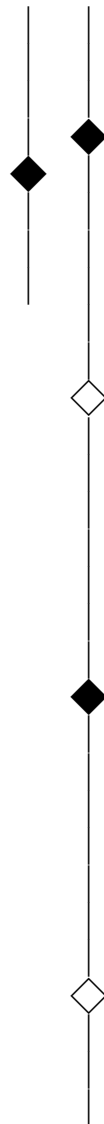
どういふことかというと

焦燥感だけが残っていたから

・  
・  
…\*



## 64話〜66話



64. 食欲……

ここ数日

所謂 人の三大欲求というものがなかった

“ない”と気付くこともなかった

だけど

夕方になったら

お腹すいていることに気付いた

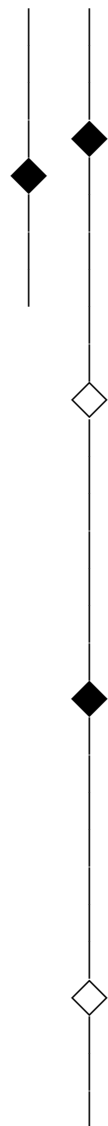
やったー

第一段階乗り越え成功！

またもや自己完結

コンビニおにぎり3つ食べた

気持ち悪い)



65. 薬剤師さんの処方は……

お友達の薬剤師さんが言ってくれた

「その症状に効く薬は時間だよ」って

そうなんだよね

だから

ほら

食欲だって出てきたし！



66. ごめんね……

その薬剤師さんつながりで……

一生懸命に笑わせようとしてくれたり  
夜中でもメール受けてくれたり

すっごく頑張っていてくれたんだ

それなのに

いつもは付いていけるジョークに  
付いていけなかった

ちよつとだけ

八当たりしちゃったし

まだ心が付いていってないのかな

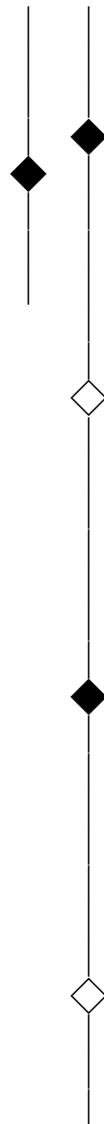
自分って

もっと割り切り良いって思っていたのに

情けなくて ごめんね



## 67話〜69話



67. 言葉……

彼と付き合っていた頃は  
メールの活字を避けていた

声が聞きたいとか  
話したいとか

そう思っていたから

でも

「さよならした」って活字で書いたら  
お友達からの沢山の温かい心に  
触れることが出来た

嬉しくて  
哀しくて  
いろんな思いで大泣きした

活字だって  
ちゃんと受け取れば  
温かいんだ

言葉に変わらないんだ

でも

やっぱり声が聞きたかったんだ

あの時は



68. 最後に……

最後の言葉が

「さよなら」というメールだった

最後に聞いた彼の声は

暗い声だった

もう会えないのなら

せめて

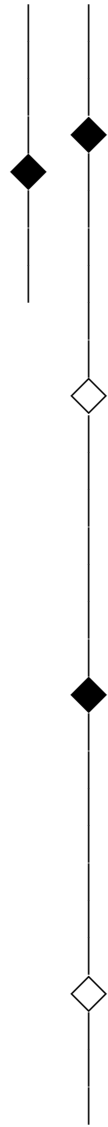
明るい声で話したかった

思わずメールしそうになった

「電話ください」って

やっぱり

送信は押せなかった



69. 最後の一葉……

いったい何時まで続くんだろ

この雨模様

とういうか……豪雨

少し太陽が見えたと思うと

急に空が暗くなって

雷鳴がとどろく

激しい雨が叩きつける

まるで今の私

この雨模様が豪雨ではなく

晴れに変わる頃は

私の心も晴れてるかな

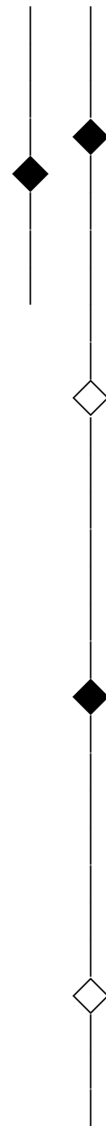
まるで

いつか読んだ

「最後の一片」みたい

逆の感覚だけど

## 70話〜72話



70. 明日……

本当はね

明日 デートのはずだったんだ

いつもなら

さっきまで待ち合わせの場所とか時間  
相談していたはずなんだ

今頃は

お洋服とかで悩んでいたはずなんだ

いいよ！

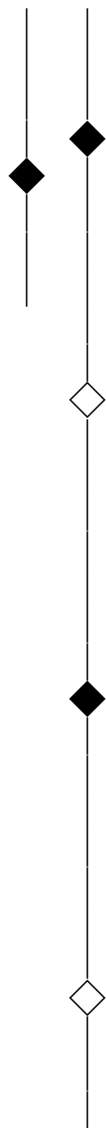
明日が過ぎたら

また

いつもの毎日が待っているんだから

そう言い聞かせている自分が

かなり虚しい



71. やつと……

まだ一日が終わった訳じゃないけど

やっと終わってくれたって感じ

本当だったらデートの日だった今日

なんだかね

色々と思っちゃったよ

「さよなら」してから初めての休日だったし

沢山ね行く約束してた処があったんだ

こうなるんだったら

優先順位考えて行ったらよかったかな

でも思い出だけが残っちゃっただろうから

行かなくてよかったかな



72. だったらいいね……

前に「TDLホテルに行こうね」って約束していた  
新しくオープンしたホテルだから

もう予約がいっぱいで



彼は自分が忙しすぎるから

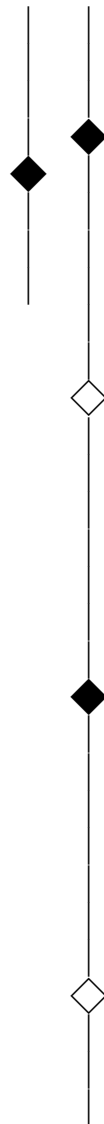
「来年になりそうだね」とも言っていた

その時

「それまで付き合っていたらね」

そう言った自分の言葉を思い出した

## 73話〜75話



73. 2度目の「さよなら」……

観ていたテレビの中で

こんな言葉を聞いた

「泣いていても笑っていても

状況が変わらないのなら

笑っている方がいい」

そうなんだよ!

だから笑ってることにした

“無理して”って云うわけじゃないけど

そう思うと

自然に笑顔になれる気がする

さて

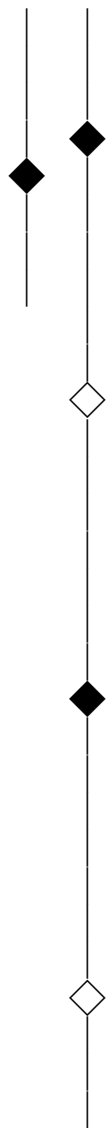
明日から

また新しい月と週が始まる

「さよなら」

泣いてた自分

あの夏の恋



74. あのさ……

ちょっと前に

私から、“添付あり”で送ったメールがあった

今頃になって気付いたらしく

返信あり

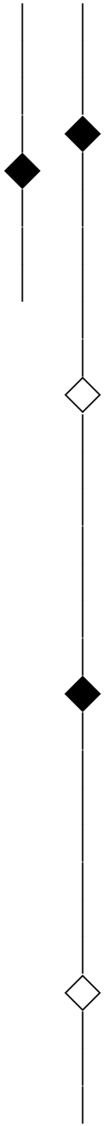
彼が知ってるはずのことを  
ジョークで書いたメールだったんだけど

マジレス

あのさ……

もういいよ

今さら律儀に返信なんてさ



75. やめておけばいいのに……

まったくね

やめておけばいいのに

ジョークが通じてない

彼のマジレスメールに

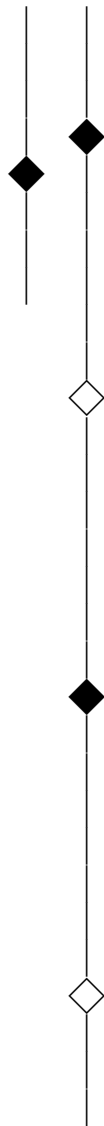
マジレス返信しちゃったよ

それから返信はない

スルーしておけばよかったよ

ばっかみたい

## 76話〜78話



76. やゝめた……

予想通りだったな

気持ちが楽になった頃  
やってくる出来事

あいつからの突然のメール  
いつもタイミング悪いあいつは  
相変わらず

それで何となく気が重くなったから  
それを解消する方法を考えていた

カラオケにオール！  
友達に愚痴る！

高速を飛ばしまくる！

思い出の場所の写真をわざと見る！

あいつの悪いところを羅列してみる！

ん？

そんなこと考えてる自分が  
虚しくなってきた

やゝめた！



77. 指でつついてみたら……

久し振りに青く晴れた空が

目の前にあった

7階のベランダから見たから

目の前っていう感じ

ちょっと手を伸ばして

青い空に浮かぶ雲を

指てつついてみた

どこまでも続く空は

高かったな

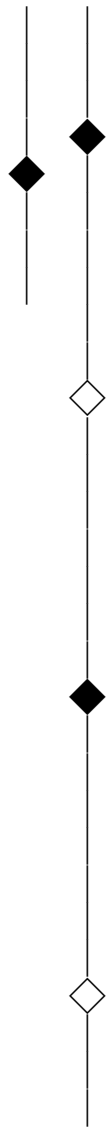
全然 届かないわ

当然か

風が不意に髪を揺らした

いつもと違う匂いの風に

時間の流れを実感した



78. 愛のカタチ……



「人を愛する」って意味

大きすぎることでって判ってる

自分を犠牲にしても  
相手に尽くす

これも有りだと思う

いつも一緒にいて  
笑顔を見せること

これも有りだとも思う

ずっと以前

夏の風が秋の匂いに変わる頃

大好きな人の寝顔を見ていた時  
思ったことがある

「私が貴方を支えて行くから」

思わず 彼の頬に手を当てていた

いつも支えてもらってばかりいた私が

本気でそう思った

## 79話〜81話



79. 遠回り……

何気につけていたテレビドラマから  
このセリフが聴こえた

「遠回りしたっていいじゃない」

このドラマ  
何回も観てるのに

今日は 何故かこの部分が  
やけに鮮明に聴こえた

振りかえってみると  
ダイレクトに辿り着いたものなんて  
ほとんどない

ここまで来るのに

何度も遠回りしていた

後悔がないと云ったら  
嘘になることもある

けれど

遠回りしたから

見えたこともある



80. 後ろを……

たまには後ろを向いてみるのも  
いいかも

前に向かって走ってばかりじゃ  
疲れるし

戻るなら戻りたい過去もあるけれどね

それが不可能なら

ちよっただけ過去を覗くのも

無意味じゃないかも

その当時と違った感覚で

何かが見えるかも

そしたら

また前を向いても

全力で走れるかもね



81. 旅立ち……

今 親友から連絡があった

おじい様が亡くなれたと

色々な別れがあるけれど

亡くす別れは

もう二度と会うことは出来ない

声さえ聴くことも出来ない

心の中で生きている

自分自身

そう言い効かせていたこともあった

それでもまだ

受け入れることの出来ない別れがある

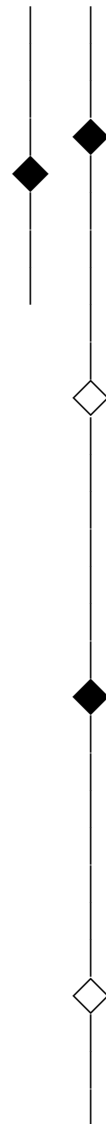
それは

藤村との判れ

父との別れ



## 82話〜84話



82. 諦めるって……

何か未知のことに挑戦することは

当然 勇気がいる

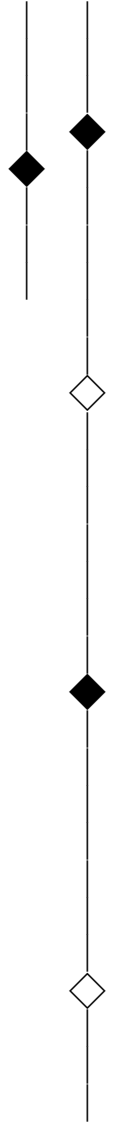
でも

それまで積み重ねたものを諦めることは

それ以上に勇気がいる

ここ数年で感じたこと





83. どのくらい……

何故か急に涙が出てきた

泣きたくないのに

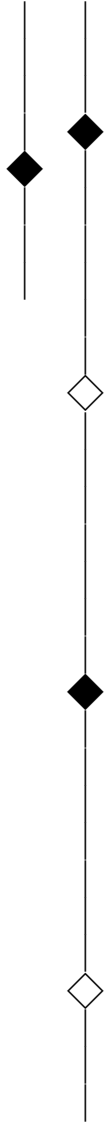
涙が止まらない

何が哀しいのか

それもわからない

急に出て来たんだもん

どうして……



84. ひとりじゃない……

もうこの世も終わ리と思うことがあり

涙も枯れるほど泣き明かす夜があり

風の匂いも空の色を見ても

何も感じないほどだったり

拳句には孤独感まで感じたり

そんな時

学生時代の友人から電話があつた

久し振りに聞くその声に

ひとりじゃないって思えた



## 85話〜87話



85. That's a question……

「今まで一番  
幸せとか楽しいと思ったことは？」

その都度 そう思ってたし……

沢山あるから ひつつに絞れない

「今まで一番  
悲しかったり辛かったことは？」

そういう状況では

いつもそう思っていたし……

これも ひとつに絞れない

これって

良いこと？

悪いこと？

それが問題だ！



86. 誰だって……

誰だって

余計なお世話とか

判り切ってるよって

思う時もある

でもね

余計なお節介を  
やいてくれる人がいるってことは

幸せなことなんだよ

その厚意に対して

素直に「ありがとう」って

そう言える人でいようね



87. 時にはね……

何でもかんでも

一人で頑張るって言ってるけどね

確かにそれも

悪いことじゃないよ

ひとりで出来たら  
それは一番いいかもね

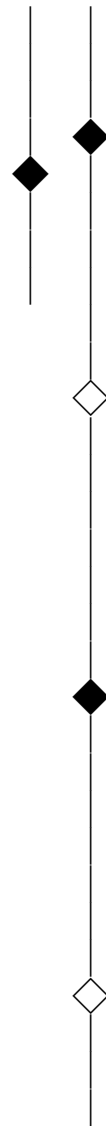
でもね

何でも一人で出来る訳でもないんだよ

時には限界を認める勇気を持って  
人に頼ったっていいじゃない？

それは  
決して恥ずかしいことなんかじゃ  
ないんだよ

## 88話〜90話



88. 今更だけど……

トブトリ、アトヲニゴサズ

こういうコトワザがありますよね

どんなことでも

最後にきちんとしたケジメは

つきたいものです

……？

何となくモヤモヤしていたり

急に涙が止まらなくなったり



こんな情緒不安定状態って

たぶん

別れた彼と

最後にきちんと話せなかったから？

今更だけど

ふと そんなこと

思っちゃった



89. あなただって……

笑顔でいなくちゃいけないって

わかってるんだよ

でも

笑顔になれない

神様

どうして皆が平等に

笑顔でいられないのですか？

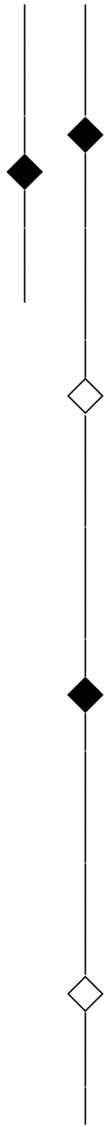
神様

あなただって

空から見ている

皆が笑顔で暮らしているのを

見る方がいいでしょ？



90. プライド……

人ひとりの人生を  
左右するような約束を

そんなに簡単に口にして  
いいのかな

そして

その大切すぎる約束を

そんなに簡単に破っても  
いいのかな

世間的にどんなに地位や名誉があっても

貴女のそのココロには

プライドは存在しないのですか？

## 91話〜93話



91. 仕方ないんだけどね……

・  
..  
＊

まあ

どんなにムカついても

どんなに悔しがっても

これも状況が変わらないなら

仕方ないんだけどね

笑うしかないか

やっぱり

ちょっとキツイわ

綺麗事は言えないね



92. 不思議……

・  
..  
＊

ムカついている時って

頑張っても

笑えないんだけど

哀しい時って

無理したら

笑えるんだよね

不思議だな……



93. 極限超え……

・  
..  
＊

そうそう！

痛いとか辛いとかって

その極限を超えると

笑いが出てくるんだよね

ほら……

足の小指を角に当てた時

笑いながら

「いたゝつ」って言ってるし

辛すぎても

極限を超えると

笑うしかないって

そう思っちゃうんだよね

やっぱり「笑い」が生きてく基本かな？

ムカつくけど

そのうち笑えるかな？！

## 94話〜96話



94. やめようよ……

・  
..  
＊

人を見た目で判断するのはやめようよ

勝手に想像つくって

決め付けもやめようよ

そうやって決めつけられたお陰で

こっちが迷惑してるのがわからないかな

想像するのは勝手だけど

プラスになることならまだしも

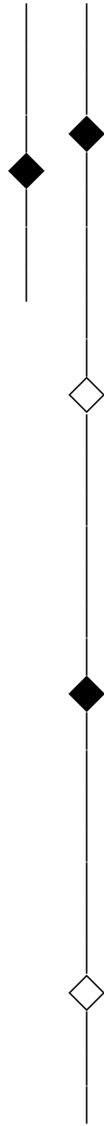


たとえばジョークでも

その人のマイナスになることは

言っちゃダメだよ。

これも、ひとつの思いやりだよ



95. 買っちゃった……

・  
・  
・  
\*

今日もよく晴れてるな

空が青いし高いよ

あゝあ

秋のデートに備えて

先取りでお洋服

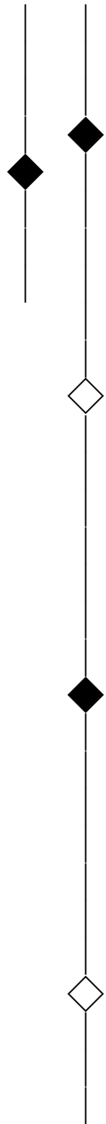
買っちゃったよ

どうしてくれるのよ！

浴衣だって

結局

着る機会なかったよ



96. 母の言葉……

・  
・  
..  
\*

よし！

こうなったら

買った秋のお洋服を着て

デート出来る相手を

捜そうじゃない！

ん？

どうやって探すの？

昔 母が言った言葉を思い出した

「あまり先走ると

良いことなことはないわよ」

セイテハ コトヲ シソンジル

ごもつとも

## 97話〜99話



97. 気付かないまま……

・  
..  
＊

けっこう若い頃に言われたことって

その時には実感しないものだよね

でも

自分が大人になって

いろんな経験をして

やっと その意味に気付くことって

けっこうあったりね

もっと早く気付いていたらって

後悔することもあるけれど

ずっと気付かないままにいるより

ずっと いいっか



98. SOUND OF SILENCE……

・  
・  
・  
\*

うゝん

何故か今日は気持ちに乗らない

凹んでいる訳じゃなかったんだよね

何となく気分が重い

そんな時に限って

流れて来た曲……

「SOUND OF SILENCE」

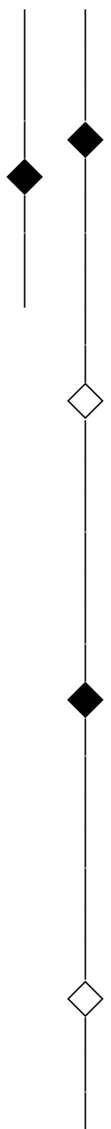
古い映画「卒業」のテーマ曲

めっちゃくちゃマイナーコード

このタイミングに

完全に凹みました

本当は好きな曲なんだ〜！



99.      それが、なにか……？

・  
..  
＊

お洒落って好き

自他共に認めるお洋服好き

メイクも好き

ただし

TPOはわきまえているつもり

職場のお局様が言った

「あなた    どうして職場に

お化粧してくるの？」



はい？

「今日の服装

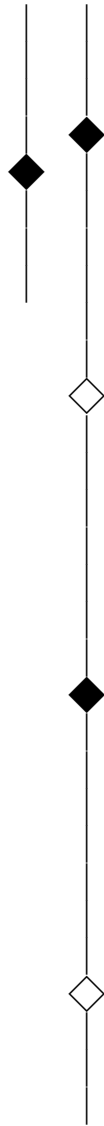
色が明るくない？」

はい？

これ 身だしなみですが

それが なにか？

100話〜102話



100. 妄想が……

非常にマズイ

これって

かなりマズイ

いつもの妄想が頭を横切った

落ち葉の舞い散る外苑

ライトアップされた東京タワー

湘南の海岸線

横浜の埠頭

で……

更にマズイのが

隣にあいつがいるんだよ

別れた彼！



101. 晴れると……

彼にね「さよなら」ってした後

ずっと雨模様が続いていて

かなり心も曇ってた

でも

やっと気持ちも落ち着いてきた時

今日みたいに清々しく晴れていると

これまた

気持ちが曇ってる

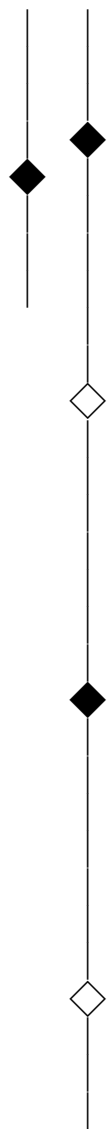
こんな日に

大好きな秋の海を

一緒に見たかったって

そんな風に思っちゃうんだ

約束してたんだ



102. 時間の流れ……

あれから7年か……

私 頑張ったよ

泣いたけど

ついこの前も泣いたけど

それでも

頑張ったよ

哲也が果たせなかった夢

同じことじゃないけど

同じNYで頑張ったよ

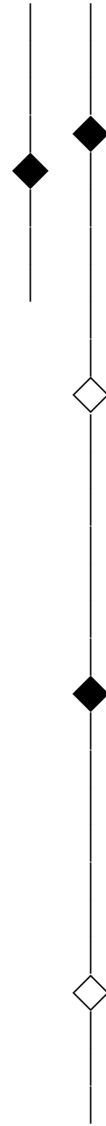
今日のNYは晴れるかな……

あの日と同じ空の色かな

時間はそのまま流れてるけど

景色は変わったよ

## 103話〜105話



103. 自分でも……

まだ言ってるよって

自分でも思うんだけどね

この秋空になっても

やっぱり同じ色の空を見ると

思っちゃうんだ

やっぱり忘れちゃいけない

事実なんだ

私の中で……

あの映像も

あの光景も

あの空の色も

立ち上がる噴煙も

2001年9月11日の

あの日あの瞬間を



104. 簡単なこと……

「人は笑うために生れて来たんだ」

さっきTVから聴こえてきた



そうなんだよね

父も言っていた

「嬉し泣きはいいけど  
痛いとか苦しいで泣くな」と

泣くことは悪いことじゃないけど

楽しくて笑っていた方がいいに決まってる

ふと思った

簡単に出来るように思えることが

実は一番難しいことなのかもって

生きて行く基本

小さい時に教えられたこと

もしかしたら

大人にとっては

一番難しいことかもしれない



105. 風の匂い……

振り返ってみると

いつも哀しい出来事は

秋風に乗ってやってきた

いっつも秋

初秋も晩秋も

ぜんぶ秋

今年もまたやって来たよ

もう頬を撫でる風は

冬の匂いさえしてるけれど

毎年

秋の思い出は

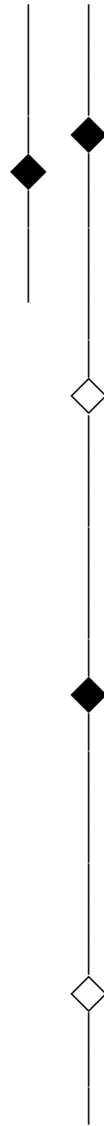
ずっとそのまま

記憶からは

消えることはないんだ

受け止めるしかないんだよね

## 106話〜108話



106. 私も……

職場へ行くと

「これ 徹夜で仕上げました！」  
と資料を持って来てくれる

その度に

「頑張ったね」っていう自分

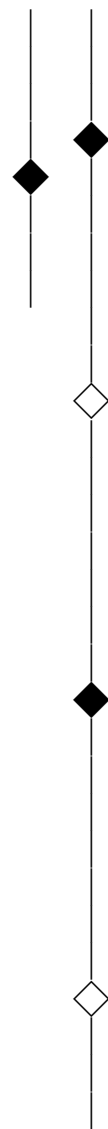
私も……

「頑張ったね」って言ってもらいたいな

だって

女の子なんだもん

ひい！失礼！



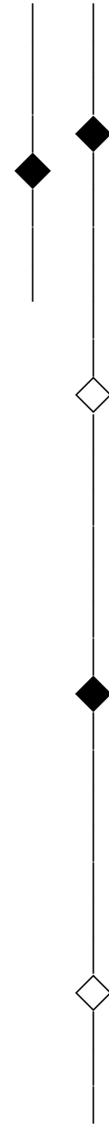
107. そうだ……！

そうだ！

海へ行こう！

あれ？

何処かで聞いたフレーズ……



108. その光景が……

……ということで

海へ行った

思い立って行ったから

いつも行っていた海

午後も夕方近くなって

夕陽に海の色も変わる頃

ウィンドサーフィンの帆を

片付ける人たち

沈む夕陽を背に

その光景が何故か哀しかった

秋の匂いが混ざった潮風が

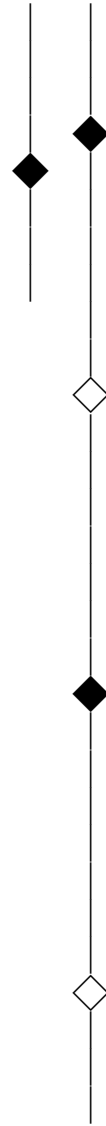
頬に当たると

もう今年の夏も遠い過去に思えた

あの別れも思い出も……猛暑も

つい、昨日のことでした

## 109話〜111話



109・朝 目覚めると……

朝 目覚めると

無償に虚しいとか

哀しいとか

変な気分の時がある

そんな時って

決まって

夢の中で楽しい思いを  
していた時

そう言えば……

「夢で逢おうね」って



いつも寝る前に

メールもらってたな



110. 秋晴れ……

こんなに晴れてるのに

こんなに空が綺麗なのに

どうして

淋しい気持ちになるんだろう





111. いろんなこと……

ここ1年くらいの間

かなり参った

凹んだ

仕事もそう

恋愛もそう

事故に遭った

しなくていい引っ越しをした

出費大!

なに〜!?

やっちゃまったなあ〜!

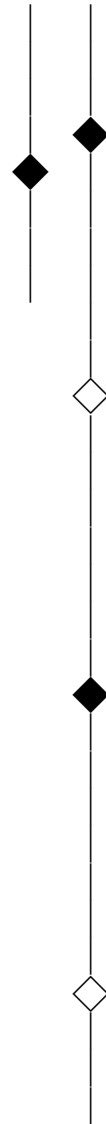
(古?)

こんな心境ですよ

でも書籍発売になった

いろんなことあるね

## 112話〜114話



112. そんなことは……

ふと気付くと

夏が遠い思い出になっていた

辛かったな

哀しかったな

悩んだな

楽しかったことも

沢山あったけど

思い出すのは

やっぱり涙の時間

きつと

それだけ長い時間

涙を流していたんだな

そんなこと

彼はもう

覚えてないだろうね

そんなことは

多分ないだろうけど

そうでも思わないと  
やってられないんだ



113. それでも……

どんなに辛くても

どんなに哀しくても

それでも

やならくちゃいけないんだ

本当は徹夜なんかしたくないよ

お肌に悪いし

夢に逃げたいよ



114. 初めて……

「私のために無理しないで」

そう言って

「さよなら」って言った時は

初めてあの人に対して

自分に嘘をついた時だった

「大丈夫」って言っていたのは

本当は大丈夫ではなかったけど

それは嘘ではなくて

「頑張っ」の裏返しだったから

引き止めてくれるって

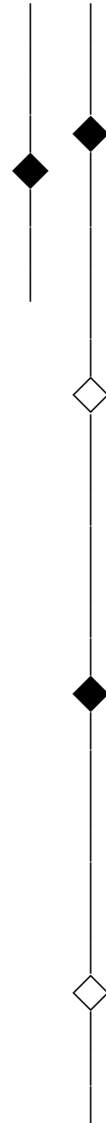
何処かで思っていたんだ

だからつけた嘘だったのかな……

ふと

思い出しちゃった

## 115話〜117話



115. そう出来ていたら……

あの日

ああすればよかった

ああ言えばよかった

あの時

もっと気付いていたらよかった

もっと優しくしていたらよかった

こんなことって良く思う



あの日 あの時

そう出来ていたら

誰も哀しむこともないし

後悔もしないんだよね

泣かなくて済むんだよね

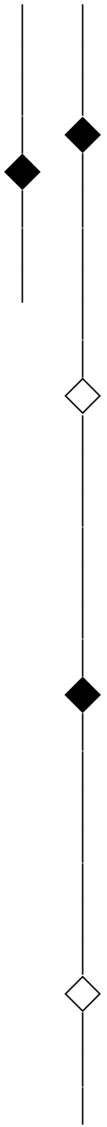
当たり前なことなんだけどね

ちょっと悔しいよ

ううん

大分 悔しい

自分にね……



116・交差……

徹夜明けに

大きく息を吸い込むと

何処からともなく

秋の匂いのする風が

ちよつと乱れた

髪の毛を揺らした

見上げた先の

朝焼け雲から覗く

少し高い青い空にも

秋の気配を感じた

少しの切なさ

少しの笑顔が

交差していた



117. 現実には……

暫く故郷に帰っていた

成田についた途端

空気が変わった気がした

どこが……とは言えない

たぶん

自分の気持ちのせい

現実に戻された気がした

## 118話〜120話



118. 嫌なわけじゃない……

現実に戻ったからといって

それが嫌なわけじゃない

引き戻されたって感じたのは

故郷に緑が多すぎたから

楽しい思い出だけが残っていたから

たぶんあの頃哀しいこともあったはず

でも

今 帰った時に思い出されたのは

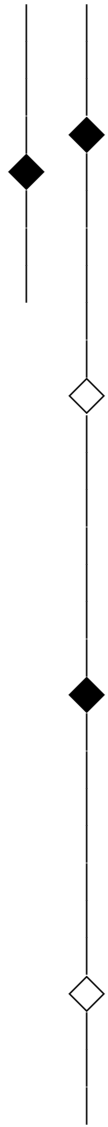
楽しい思い出だった

コンクリートだらけのこの街で

また いつもの生活が始まると思ったら

引き戻されたって表現になっちゃった

それだけ



119. なんてね……

仕事で渋谷に行った

え!?

このまえ別れた彼の後ろ姿

見かけちゃった!

相変わらず忙しそうだったな……

声をかけようかと迷ったけど

やめちゃった

「誰だっけ?」

そんなこと言われそうだったから

なんてね……

勇気がなかっただけ

自分から「さよなら」って言ったくせに

情けないぞ！

私



120. もっと……

別れた彼を見かけた時

女の人と一緒にじゃなかった



ほっとした

めちゃくちゃ

ほっとしていた

もつと情けないぞ！

私

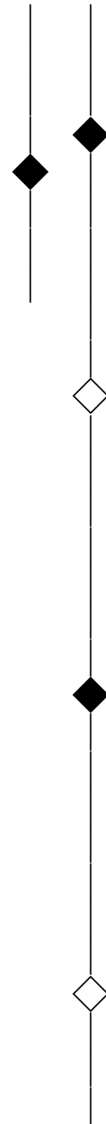
……というか

そんな風に思っている自分が

哀しいかも

あゝもう！

## 121話〜123話



121. ありがとう……

かけがえのないもの

失った時の

淋しみや哀しみは

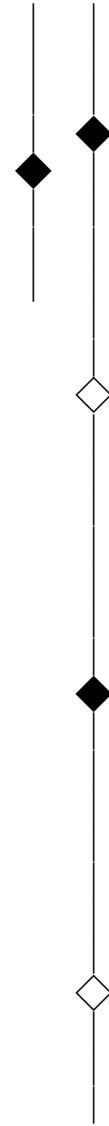
決して言葉では

言い表すことが出来ない

生きてくれていてありがとう

今 そう言える

＊愛犬・寧々が大手術に耐えて元気になってくれたことへの気持ちです。  
ご心配戴いた皆様・励ましのお言葉を頂いた皆様へも……。  
心から有難うございます。



122. 影が……

秋に切なくなったり

哀しく感じたりするのは

夏が眩しすぎるからだって

ふと思った

過去の経験だけじゃない

楽しい思い出や

別れの経験は

いつの季節だってある

それでも

秋がやけに物哀しく感じるのは

あの眩しい季節の後に

急にやってくるから

吹く風が急に秋の気配

そんな感じだから

徐々に……だったらね

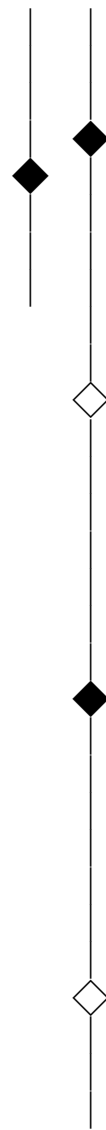
きつと もつと違うんだろぅな

夕方

歩道に映った自分の影が

長く伸びていていた

もう冬の気配さえした



123. やだな……

やだ!

クリスマスツリーの点灯式?

もう?????

そうだよね……

思ったら毎年のことじゃない

いけない!

予約していたレストランとホテル

キャンセルしなくちゃ！

キャンセル……

やだな……

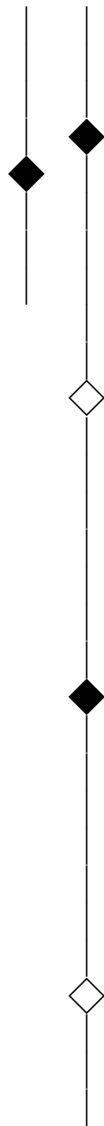
あっちがやってよ

キャンセルなんかしないで

ひとりで盛り上がりますか！

もっと やだよ！

## 124話〜126話



124. 感じる間もなく……

あの猛暑の夏が

いつの間にか通り過ぎ

気づけば秋の気配から

一気に冬の風

普通なら芸術とかファッションとか

そう思う秋だったはず

その秋の気配を感じる暇もなく

世間ではシーズン先取り

C h r i s t m a s …… e t c .

時間や季節って

どうして人の気持ちを通り越して

流れていくのかな……

「ずっとこのままで」

そう強く思っても  
容赦なく過ぎていくんだよね

逆に

「はやく過ぎ去って」

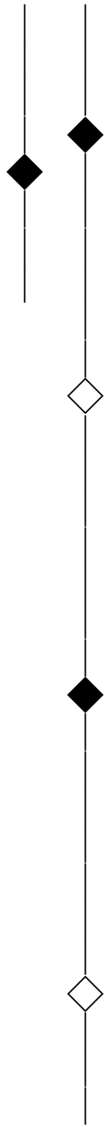
そう思う時には

何故か時間の流れが遅いんだ

時に残酷で時に優しくて……

気持ちの問題なんだろうけどね

これが現実なんだよね





125・時間は……

楽しい思い出も

哀しい思い出も

消えないままに時間だけは

そのまま過ぎて行きます

楽しいことだけを

記憶に留めておけばいいのに……

理想と現実が

わからなくなるくらいに

恋もしました

楽しい思い出もしました

哀しい思い出もしました

泣きもしました

そして気付いたこともあります

現実から目を背けてはいけないって

「自分はひとりじゃない」

ってことも……



126. 胸を張って……

あの時

好きだった人に

語った自分の夢……

本当に嘘はなかった

現実になったこともあれば

そうでないこともある

けど

「こうやって頑張っているよ」

と、胸を張って言いたい

「まわりの皆に支えられながら

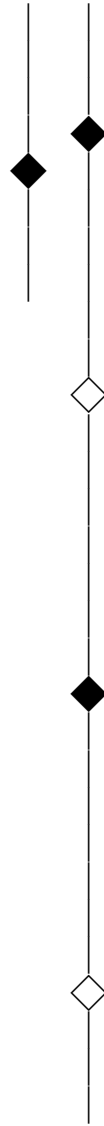
みんながいるから……

だから頑張れているよ」

そうとも伝えたい

「元気でやってるよ」

## 127話〜129話



127. 乙女……

なんでだろ……

意味なく凹んでるし

確かにね

このシーズン

いろんな行事とかが

始まる時期だからね

クリスマスとか？

失恋したばかりの私にとっては

ちょっとキツイかも……

でも

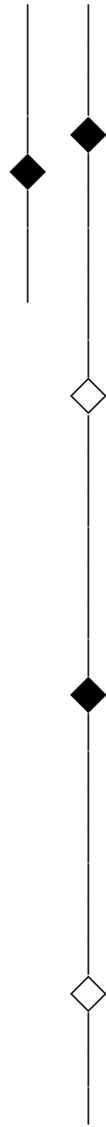
それとは違うんだ

落ちる枯葉見て…

雲の様子が変わったのを見て…

乙女だ！

図々しい……かな



128. 見たい……見たくない……

このシーズン

各地でクリスマスツリーの点灯式

こちらから更に

街中煌びやかに

ライトアップされて行くんだろうな

見に行きたいな

……見たくない……かも

TVで映し出されるその光景も  
チャンネルかえたくらいだし

「もう大丈夫」って思ってたけど  
やっぱり淋しい

「さよなら」って言うなら  
せめて このシーズン前は  
避けたらよかった

やっぱり一緒に見たかった

手を繋いで笑っている

ふたりの姿と

イルミネーションの光が

嫌でも脳裏をかすめるんだ

とっくに

ふっきったはずなのに



129. 見えていない……

凹んだり

不安だったり……

何となくだけど

マイナス気分の時って

大概 先が見えていないんだ

プラスな気分になれる時って

ちゃんと先が見えてること

けっこう多い

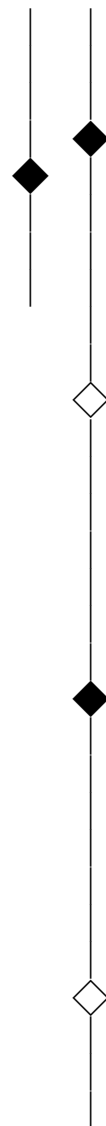
ふと思った

……というか

今 リアルタイムで実感中



130話〜132話



130. 自分から……

誰だって

心から笑っていたいよね

笑っている時って

幸せで楽しいから

でも

笑っていて

幸せで楽しくいたいなら

先ず

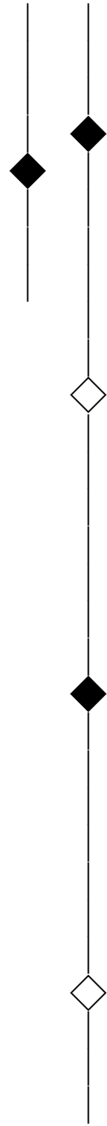
自分から歩み寄らないと！

自分から努力しないと！

嫌なことから逃げてばかりじゃ

本当に心から

笑えないかも……ね



131. 突き刺さる……

忙しさにかまけて

時間の流れも忘れてた

もう師走か……

そういえば

北風がやけに冷たいな

何となくだけど  
いつもの街も  
雰囲気がちがう

そっか……

キラキラってなってる

単純に綺麗だなんて思うし  
素敵とも思う

でも今年は  
街のイルミネーションが  
胸に突き刺さる痛い光

なんだか情けない自分が  
ここにいる

よし！  
頑張りますか！



132. やるだけやった……

昨夜は大切な仕事があった

失敗は許されないんだ

実力勝負の世界ってキツイ

キツイ……

“キツイ”と云えば

こんなことを言ってくれた人がいる

「まず、やるだけのことやってから」

そうなんだよね

精神的にキツイことはあっても  
やらなくてはいけないことがあるなら  
それをやってから  
次を考えればいい

やらないうちから挫けたら  
先には進めないんだよ

今はキツイこと辛いことがある

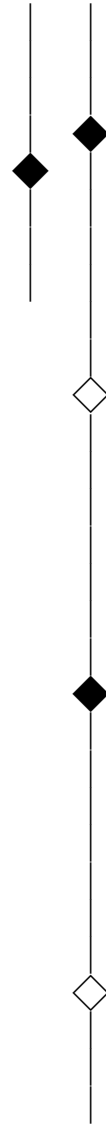
でも

やり遂げた今は  
次に進める気がしてる

私

昨夜は頑張ったよ

## 133話〜135話



133.. お疲れ様……

大変な仕事が終わった後  
すぐにメールがあった

「お疲れ様」

友人からのメール

嬉しかったな……

別れた彼のメールに  
いつも書いてた言葉

「お疲れ様」

あの時は  
同じ言葉の連続に  
ウンザリしていた

でも その言葉を受け取って  
嬉しかった自分がいる

何度でも何度でも  
「お疲れ様」って  
メールしたらよかったんだよね

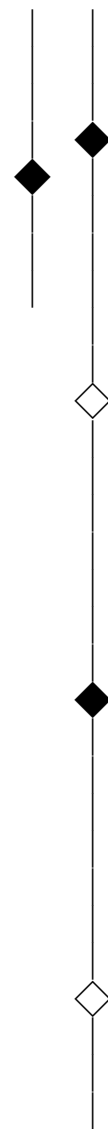
今 気付いても遅いけど

あの時は  
私も「お疲れ様」って  
言って欲しかったんだ

余裕がなかった自分

最後まで  
「お疲れ様」って言えなくて

ごめんね



134. 今を……

実は

今 けっこうキツイ

お仕事もプライベートも

かなりキツイ

ブログにもらったコメントに

「今やることに全力を尽くして」



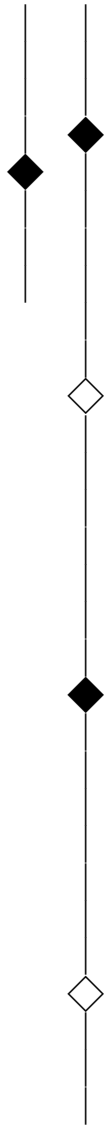
ってあった

そう！

今を乗り切ったら

過去も未来も

良い思い出に出来る気がしてきた



135. 元彼へ……

どうしてしなくていけない  
事務連絡があり

元彼にメールした

かなりの事務的文章

返信は相変わらずの感じ？

ため口

いいんだけどね…

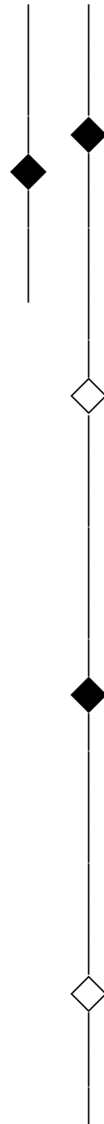
知らない仲じゃないんだし

ただね…何気に複雑な気分だった

それへの返信は

もっと事務的になっちゃった

136話〜138話



136. もう……

もうやめよう

元彼のこと思うのも考えるのも

何故かっていうと

別れたのに

メールばかり来るし

しかも

相変わらずハートの絵文字つき

しかも

複数のハート

というか

もう1年も前に「サヨナラ」したはずだし

訳がわからないから

考えちゃうよね

なんだかそういうこと考えること自体

疲れたからね

メールもらって嫌な訳でもないけど

返信する気にもなれないんだ

だから

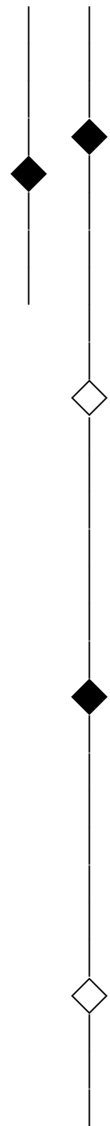
もうやめた！

夏だし！

……って

その理由言ってるワタシも

変だわ



137. 深夜の……

徹夜で執筆とか

よくあることで

そんな時は24時間ライブの

TVショッピング番組をつけてる

今日はジュエリーデイらしい……

綺麗だわ

けっこう安いよ！

と思っても

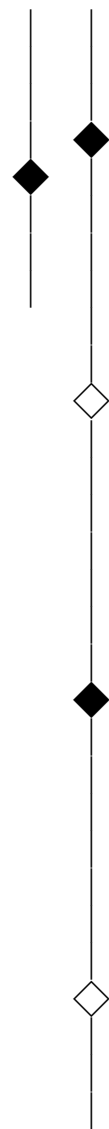
ちょっとセーブしないといけない時期で

観てるだけ

ウィンドウショッピングを自宅でという感じ

深夜のこんなワタクシ

ちょっと切ない……かも



138. ひとり……

早くも梅雨明け宣言

という感じ

もう7月半ばだから可笑しくはないけれど

例年に比べると早い気が……

かなり早い時期に梅雨入りしたと思ったら

一気に猛暑

そうしたら梅雨明け

時間は止まらないね

どんなことがあっても

でも

あれから……あの日から

東京が、日本が変わった気がする

どんなに頑張っても追いつかない

どんなにもがいてもひとり……

そんな気がしている



本当はそばにいてくれる仲間がいるのに

支えてももらっているのに

なんだか

ひとり取り残されている感じ

どうしたんだろ……この感覚

## 136話〜138話（後書き）

しばらく連載ストップしていましたが、またよろしくお願い致します。

## 139話〜141話



139. 無邪気に……

この時期になると毎年思い出すことがある

無邪気に遊んで笑っていた

あの頃

そして隣には父の笑顔があり

母の笑顔もあった

もう

あの夏へは二度と戻ることは出来ない

でも

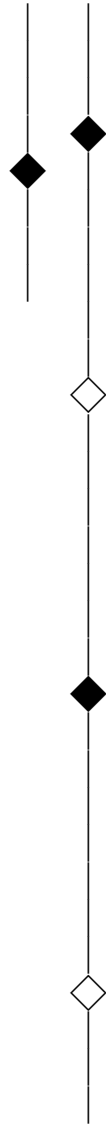
どうしても思い出す

思い出してしまう

家族3人で笑い合っていた頃

未来のことは何一つ恐くなく

本当に無邪気に笑っていたんだ



140. もうひとつ……

それから

もうひとつ思い出すことがある

この時期

大学の頃のこと

試験とか卒論とかに悪戦苦闘

悩みは恋愛のこと

告白すべきか待つべきか

傷ついたことは

失恋とか

そして

いつも隣で支えてくれていた親友

いつも彼女の笑い顔が隣にあった

あの頃はどんなことにもそれなりに真剣で

眠れない夜に枕を涙で濡らしたこともあった

今、思うと

可愛い自分がいて

やっぱり

未来は恐くなかった



141. 笑って……

思い出は色褪せないと

最近、実感

楽しい思い出ばかりじゃないけれど

色褪せてはいない

哀しい思い出に不意に涙することもある

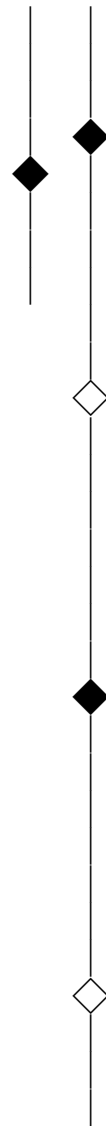
色褪せていない証拠

全ての思い出に心から笑える日が来る

……なんてきれいごとは言わないけれどね

笑って話せる時は来るって  
信じてる

## 142話〜144話



142. 定番が……

あれ、今年になって初めてセミの声を聞いた

猛暑には

スイカとかき氷とセミという

私の中の定番が失くなっている

時代は変わっても

時間は流れても

古き良き時代

懐かしい時間にあったものは



失くさないでと思う

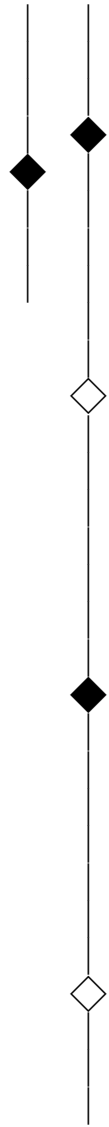
もつとも

スイカやかき氷が失くなった訳ではないけれど

セミの声が初めてって……この時期に

コンクリートの都会に暮らして

私の中の定番がいつしか陰に隠れていた



143. 携帯メールから……

携帯メールがあんなに嫌だった時があった

それは

相手が彼だったから

普段 携帯メールはしているよ

仕事仲間とかスタッフとか

お友達ともね

でも

その携帯メールから判ってしまう

相手が元気ないって

どうしてか判らないけれど

感じてしまう

ここ最近

大切な仲間が元気ない

滅多に弱音を吐かないから

「大丈夫？」って聞くことが迷惑かなと

聞けずにいる

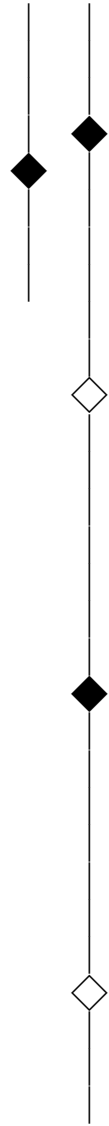
こういう遠慮ってもどかしいけれど

自分が満足するだけの優しさは

卒業した

もう少し様子をみて

聞いてみよう



144. 現代人に……

F a c e b o o kで生徒とチャットした

ちよつとだけ指導もした

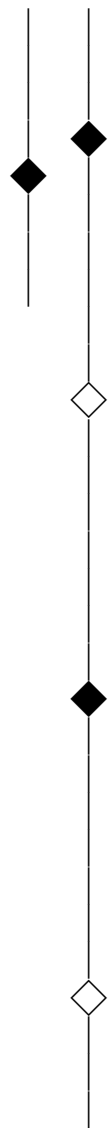
アナログ人間のワタクシ

現代人になった気分！

それにしても

イタリアの女の子

日本語が上手すぎるぞ〜！



145話〜147話



145. 嬉し涙……

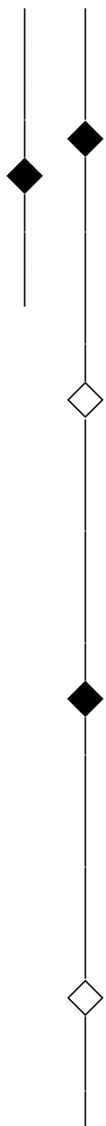
大人になると

嬉し涙とか流すことって少なくなる

憂し涙はあるかな……

今朝 かなりの嬉し涙が流れた

なでしこJAPAN!!!!



146. 大切なこと……

以前「声に勝るものはない」と書いた

そう

メールばかりの元カレとのことで

ひとりごとを呟いていた時

最近はお仕事関係が多いけれど

やっぱりメールだけじゃ通じ合えないこと

沢山ある

電話して声を聞いて

そしてやっと見える

キミのココロ

それってすごく大切なこと



147. 熱風……

節電ということ

扇風機で過ごしていた

妙に温かい風が舞っている

というか吹き付けてくる

暑いから扇風機をかけているのに

生暖かい風を浴びることになるとは……

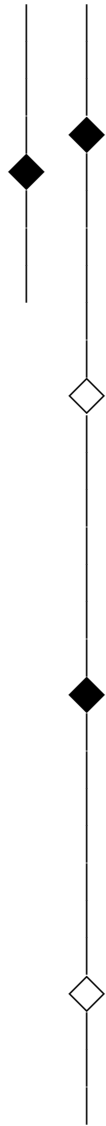
仕方ないのでエアコンをつけた

まだお部屋は冷えないので

ちょっと風に当たろうとベランダへ出た

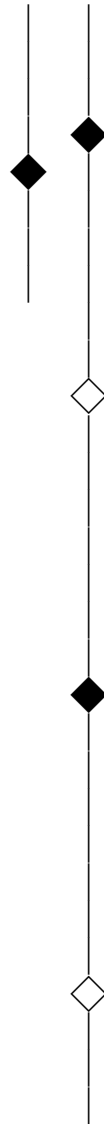
そうしたら いきなり熱風につつまれた

そこに室外機があった





148話〜150話



148. 一言で言えば……

2年前の夏

1年前の夏

そして 今年の夏

その前にも夏はあって

それぞれの年にそれぞれの顔があった

夏が過ぎると秋が来て

冬が来て

春になり……

どの季節もやっぱりそれぞれの顔があったのに

どうしてかな

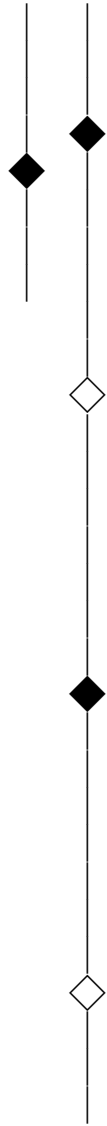
どんな顔でも

夏の思い出が一番 思い出に残っている

一言で言えば「懐かしいな」

そんな感じ

泣いた夏もあったけどね



149. アナタと……

再来月か……

あれから毎年

7月になると思うこと

本当は「来月か」の方が普通の感じがするけれど

私の中では、「再来月」と思ってしまう

あの日から10年という月日を懸命に過ごして

今、この時代に生きて

笑って泣いて、悩んで……

新しい恋もした

でもやっぱりずっとこの胸にあるのは

7月という月と9月という月

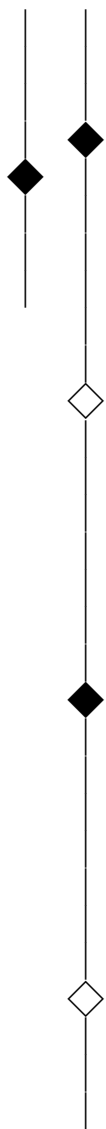
やっぱり忘れることは出来ない

忘れることはない

アナタと

あの日

9月11日



150. 一緒に……

未来というものが存在する限り

止まることは出来ない

止めることは出来ない

時間も私たちも何もかも

歩くしかないんだ

「今 出来ることをやる」

それが

この時代に生きていて

最優先ではないかと思った

直接に手を差し伸べることが出来ない  
もどかしさ

遠隔からでしか出来ないことばかり

やりたくても出来ない環境

本当にもどかしい

でも

？何か”が出来る環境にはある

だから諦めない

また、あの地に桜が咲いて

向日葵が咲いて

あの地が紅葉に彩られ

綺麗な銀色の世界に変わる姿を見るまで

「頑張って」ではなく

「一緒に頑張って行きましょう！」と

いつも言い続けています

本当に心から

東日本大震災により犠牲になられた多くの皆様へ  
こころより追悼の意を捧げます



## 148話〜150話（後書き）

ひとりごと by myself Part1は、150話にて  
完結と致します。

長い間、ご愛読いただきまして、本当に有難うございました。

続きは、ひとりごと by myself Part2にて連載  
させていただきます。

コンセプトは変わりません。

引き続き、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

本城沙衣



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6392i/>

---

ひとりごと ～ by myself ～ Part 1 【完】

2011年7月19日10時52分発行